

# 共産党など7会派提出 首相の問責可決

## 解散・総選挙で 国民の信を問え 参院本会議 民自公 増税連合を断罪 市田氏が会見

日本共産党、国民の生活が第一、みんなの党、社民党、みどりの風、新党改革、新党大地の7野党・会派が提出した野田首相問責決議が29日の参院本会議で賛成129票、反対91票の賛成多数で可決されました。問責決議は、消費税増税を強行した野田政権と民主、公明の3党談合を断罪したもので、それが国会で議決されたことは画期的な意義を持つています。決議案には、自民党が賛成する一方、公明党は増税賛成の立場から棄権、3党談合勢力の亀裂は決定的なものとなりました。日本共産党の市田忠義書記局長は問責決議可決を受けた記者会見で、「首相に対する問責であり、衆院解散・総選挙で国民に信を問うべきだ」と述べました。

賛成討論にたった日本共産党の山下芳生議員は、3代にわたる民主党政権が「自民党政治を変えてほしい」との国民の願いをことごとく裏切ってきたことを糾弾し、公約を投げ捨て自民、公明と連合して消費税増税を強行したことは「身も心も自民党とつり二つの政権になった」と批判しました。

山下芳生議員は、3代にわたる民主党政権が「自民党政治を変えてほしい」との国民の願いをことごとく裏切ってきたことを糾弾し、公約を投げ捨て自民、公明と連合して消費税増税を強行したことは「身も心も自民党とつり二つの政権になった」と批判しました。

さらに山下氏は、自公両党が民主党と談合して増税法案を強行したことについて、「公約違反の共犯者となった」と批判。「民、自、公3党に民主政治を語る資格はない」と強調しました。

山下氏は、消費税増税の強行は暮らしと経済、財政の大破綻を招くと批判。問責決議案は、消費税増税に反対する国民多数の声に背を向け、これを強行した民自公3党に突きつけられたものだ指摘しました。

また、問責賛成の理由として、「原発ゼロ」の願いに背き原発再稼働を強行したことをあげるとともに、普天間基地へのオスプレイ配備や環太平洋連携協定（TPP）参加推進など、国の主権も国民の命と安全も守れない対米追従外交を進めている点をあげました。

山下氏は「深刻な政治の閉塞（へいそく）を打開するためには、『アメリカいなり・財界中心』という古い政治の枠組みを根っこから断ち切る大改革こそ必要だ」と強調。すみやかな解散・総選挙で、国民に信を問うことを求めました。

当初、自民党は自公両党が28日に提出した問責決議案への賛同を7野党・会派に求めていましたが、7野党・会派側は「3党合意」による消費税増税を断罪した7野党・会派の問責決議案を優先して採決すべきだと主張。議運委員会でも自公だけでは問責決議案を本会議に上程できないため、自民党は結局、7野党・会派が一部修正して再提出した問責決議案に賛成せざるをえなくなりました。

民主党の武内則男議員は反対討論で、「問責の提案理由では3党合意が痛烈に批判されている」（賛成は）3党合意を反故（ほご）にするものだ」と述べるなど増税連合の矛盾と亀裂が明らかになりました。

一方、野田首相は問責決議案の議決に先立ち、輿石東幹事長ら民主党執行部と急ぎよ協議。直後に樽床伸二幹事長代行は、記者団に「自民党のほうか（3党合意を）破棄した。（解散は）『近いうち』から遠い将来になった」と述べました。

2012年8月30日(木)

### 原発ゼロの 日本へ踏み出そう 各界56氏アピール

「私たちは、原発の再稼働に反対し、

## 東日本地震・12号台風 への救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を引き続きお願いしております。ご協力をお願いします。

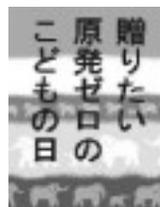
【郵便振替口座】

0017017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願ひします。

磯城郡日本共産党議員団

「原発ゼロの日本」へ踏み出すことを求めます」



「全国革新懇ニュース」編集部  
のよびかけにこたえて、各界で活躍する56氏が31日、原発ゼロの日本をもとめるアピールを発表しました。

アピールを発表したのは、池田香代子氏（翻訳家）、宇都宮健児氏（前日本弁護士連合会会長）、海老名香葉子氏（エッセイスト）、奥平康弘氏（憲法学者）、倉本聰氏（脚本家）、澤地久枝氏（作家）、野中ともよ氏（NPO法人代表）、張本勲氏（野球評論家）、吉原毅氏（城南信用金庫理事長）らです。

### 各人はメッセージも寄せています。

「悲しい過ちを二度と繰り返してはいけません。人類に先駆けて、日本人から成長しましょう」（女優の秋吉久美子氏）  
「広島・長崎の原爆、福竜丸の水爆、フクシマの原発、四度目のモルモットはもういません。地球は壊れているからでしょう」（脚本家の小山内美江子氏）  
「国民の『生活』のために原発を再稼働すると言うが、国民の『生命』を守ることこそ首相の務めだ。原発を取り除くこと以上の福祉はない」（IT企業会長の賀茂川耕助氏）  
「原発はいらない」。『原発の安全性を認めてから』というが、原発に安全はナシ（舞台美術家・エッセイストの妹尾河童氏）  
「福島事故を受けて、日本から1万キロ離れたドイツが原発ゼロを決めました。目を覚ましませうよー」（コメディアンの松元ヒロ氏）。

原発を再稼働させた野田佳彦首相を批判し、原発を日本からなくすことをよびかけています。

2012年9月1日(土)

日本共産党発行  
**赤旗**  
日刊 3,400円  
日曜版 800円

2012.9.4 NO.569

# 日本共産党

## 磯城郡議員団だより

和也 Eメール info@k-shiba.jp  
川西町結崎 862-7 0745-43-2415  
吉田 容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

# まほろば平和音楽祭に参加

9月1日(土) 昨年と同様、まほろば平和音楽祭に参加しました。主催は地域の9条の会。後援は河合町、上牧町、広陵町と各新聞支局。参加費500円という安さが申し訳ないくらい素晴らしい音楽祭でした。箏、三味線、太鼓、笛、ギター、ピアノ、などの楽器の演奏にのせた民謡フォーク、合唱、絵本の朗読、そしてゲストの「まほろばフルートオーケストラ」の十人のフルート演奏は、心の沁みる格別なものでした。出演された皆さんは、この一年間日常の生活や仕事がある中、練習に励んでこられたのでしょうか。

大切な楽器を運ぶ事、メンバーが揃わない事、体調が悪い日の事、様々な苦労を乗り越えて来られたと想像します。日常の雑務に追われ、落ち着かない私の心は、最後のフルートの音色で心に清らかな水が満たされたようで、また明日から頑張ろうというパワーを頂きました。と同時に今、私たちの住んでいる日本が平和であるからこそ、こんな音楽祭が開催でき、そして参加できる事に感謝し、この平和の次の世代に伝えていく事の大切さを痛感しました。

田原本町 森 良子  
田原本町 森 良子



# 9月議会

三宅町の9月議会の日程が決まり、町のホームページに掲載されています。日程は、9月4日(火) 定例会開会午前10時(議案の提案説明・諸報告)、11日(火) 定例会再開(総括質問・一般質問) 12・13日(水・

木) 決算特別委員会、14日(総務・建設(午前)、福祉・文教常任委員会(午後)、21日(金) 定例会再開(閉会)となります。時間の都合は傍聴し、住民の税金がどのように使われているのか監視していこうではありませんか。議案は、三宅町の平成23年度一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道、水道の特別会計(別表)が、9月議会で審議され認定されることになっています。その他、24年度の健康保険など国民健康保険、幼稚園の授業料及びバスの利用料の改訂(値上げ)、教育委員の任命、擁護委員の推薦、となつていきます。

平成23年度 三宅町各歳入歳出決算一覧 (単位千円)						
一般会計	歳入	当初予算額	最終予算額	決算額	摘要	
		3,467,000	3,760,010	3,592,452		146
特別会計	国民健康保険	823,484	890,220	919,685	626	平成24年度へ繰越 105,896,948
	後期高齢者医療	79,487	79,497	76,982	330	平成24年度へ繰越 160,100
	介護保険	537,000	547,822	530,936	726	平成24年度へ繰越 5,668,162
	公共下水道	348,400	355,659	347,688	776	0
	水道事業	348,400	355,659	347,688	776	
	収益的	169,402	179,650	178,150	898	当年度分繰越定額繰上金 43,423,156円及び過年度繰上金 6,159,646円を補った
	資本的	7,109	7,747	5,928	300	
	繰越	3,467,000	3,760,010	3,478,500	948	
	歳入	823,484	890,220	919,685	626	
	歳出	823,484	890,220	813,788	678	

三宅町 池田年夫

# 御所の栗阪自治会に一億円

今九月議会に、御所市の栗阪自治会に協力金(町の説明では迷惑料)一億円を支払う議案が提出されています。やまと広域環境衛生事務組合の事業計画では、今年度の予定は、施設基本設計で、来年度になつて、測量・地質調査・生活環境影響調査と予定されています。環境アセスさえ済んでいないのに、すでに迷惑料を払うという事は、ずさんな環境アセスで済まそうとされているのでしょうか? 早くお金を渡して、文句を言わせず進める意図でしょうか?

昨年開かれた環境衛生事務組合第一回議会では、御所市の議員が「御所に

あるんやから御所が実権にぎらなあかん」「栗阪ってどんな村かしつてんのか? あんたとこ行つたかて、前向いて進まん」という発言があつたこと。参加された本町の議員からは「葛城や高田の議員さんから、し尿の問題でもめている。そんな(御所市と一緒にごみ清掃工場を建設すること)やめとかんなあかんでと言われている」「市長がころころ変わる。呆れかえってる。不安がいっぱいや」という報告がされています。安直にお金を払うのは大問題です。せめて、手続きにそつて進めるべきです。

田原本町 議員  
吉田容工



# コミバス試行

さあ、九月に入りました。今夜(九月二日)は一段と過ごしやすく感じています。暑さとの分かれ目なんです。自分のライフスタイルで言いますと、九月議会の原稿準備に入る頃になると夜は過ぎ易くなっています。夏、夏の猛暑は年々厳しい物を感じますが、季節は順当に巡っている事を改めて感じています。何れにしても、これから夏バテ等の影響が表れるようです。くれぐれもご自愛ください。

さて、九月は議会が開かれる月でして、来週十日(火曜日)から、前年度の決算を中心に論戦が始まります。今般、町内の交通手段に関して、試みの取り組みを十一月

から来年三月まで実施する為の補正予算が組まれています。内容は、十人乗りのワゴン車を使って、町内を北部と南部の二系統に分け、全体を一巡できるような形で路線とダイヤを組んで、二時間に一本、各自治会の公民館等を中心に設ける停留所に来る恰好で走らせ、利用者の意見を伺うようです。

この話、既に各自治会長さんには説明会が開かれていまして、その方面からも話が有る事でしょう。よりよい取り組みへと仕上げて行くためにも忌憚なくご意見お聞かせ下さい。

川西町議会議員 芝 和也

